

授業科目名	障害者福祉論	担当教員名	保科 和久
必修/選択	選択 (/社会福祉主事任用資格)	開講学年・学期	1/2年 (※令和3年度は開講しません)
科目区分	その他の資格取得科目	単位数	4単位 (時間)
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	<p>現代の社会福祉制度における「障害者福祉」の位置と役割を学び、日常生活の中にある「障害者問題」を考える力を養う。</p> <p>①障がいを理解する ②障がい者福祉関係の法律の意味内容を理解する ③障がい者教育の意味を理解する ④障がい者が働く事の意味を考える ⑤障がい者の命と暮らしを考える。</p> <p>(1)現代社会における家庭福祉の理念と意義を理解する。 (2)現代における家庭機能の実態や家庭で生じる福祉問題とその社会的背景について理解する。 (3)障がい者の福祉需要の把握方法について理解する。 (4)障がい者福祉に関する法とサービスの体系の具体的内容について理解する。 (5)民間活動及び民間サービスの意味とその現状について理解する。 (5)障がい者福祉及び関連分野の専門職及びその連携のあり方について理解する。 (6)障がい者に対する相談援助活動について理解する。</p>		
授業の概要	<p>①「障がいとは」 ②「障がい者福祉の基本理念」 ③各障がいに対する法体系 ④新しい障がいである「発達障がいについて」 ⑤障がい者教育の展開 ⑥障がい者と労働 ⑦障がい者の生活環境整備 ⑧障がい者と家族の問題の理解 ⑨障がい者の命とは ⑩障がい者福祉サービス関連制度について</p>		
テキスト	使用しない		
参考書・参考資料等	毎回必要なレジュメを作成し配布して使用する。		
成績評価の方法	①平常点20%(毎回のリアクションペーパーの提出は絶対条件) ②定期試験(筆記試験) 80%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	イントロダクション 障がい者福祉って	①	
第2回	障がいの理解 I 「障がい個性論」とは？	①	
第3回	障がいの理解 II ICF分類の基本的考え方	①	
第4回	ノーマライゼーションとリハビリテーションの関係	②	
第5回	障がい者の自立とは ILの意味するものは	②	
第6回	障がい者基本法と各法の関係 「障がいの定義」の変遷の意味	③	
第7回	身体障がい者福祉法・知的障がい者福祉法について	③	
第8回	精神障がい者福祉と精神保健福祉法と他法との違い	③	
第9回	発達障がい I 発達障がいの定義と他の障がいの関係に関して	④	
第10回	発達障がい II 自閉症グループとは	④	
第11回	発達障がい III 注意欠陥多動性障がい・学習障がいとは	④	
第12回	障がい者教育の展開 I 障がい者の教育権について	⑤	
第13回	障がい者教育の展開 II 特殊教育から特別支援教育へ	⑤	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第14回	障がい者教育の展開Ⅲ 障がい者教育の今後 どう動いていくのか	⑤
第15回	前期のまとめ	①,②,③,④,⑤
定期試験	筆記試験	
第16回	障がい者が働くとは？「労働」の意味は？ 誰のために・何のために働くのか？	⑥
第17回	障がい者雇用促進法Ⅰ 同法の意義と特徴	⑥
第18回	障がい者雇用促進法Ⅱ 同法の限界と問題点	⑥
第19回	全盲の保育士の就労問題と「合理的配慮」	⑥
第20回	障がい者の生活環境整備Ⅰ ハートビル法・交通バリアフリー法からバリアフリー新法へ	⑦
第21回	障がい者の生活環境整備Ⅱ 補助犬法と障がい者の生活権	⑦
第22回	障がい者の家族関係の理解Ⅰ ジェノグラム	⑧
第23回	障がい者の家族関係の理解Ⅱ エコマップ 必要な社会資源とは？	⑧
第24回	臓器移植問題Ⅰ 臓器移植法とは？「本人の同意」と「家族の同意」	⑨
第25回	臓器移植問題Ⅱ 命のリレーの意味するもの	⑨
第26回	出生前診断と障がい者のいのち 優生思想との関係は？	⑨
第27回	障がい者福祉制度・サービスの転換Ⅰ 「措置から支援費制度へ」	⑩
第28回	障がい者福祉制度・サービスの転換Ⅱ 「支援費制度から自立支援法へ」	⑩
第29回	障がい者福祉制度・サービスの転換Ⅲ 「自立支援法から総合支援法へ」	⑩
第30回	1年間のまとめ 暮らしの中の障がい者との関わり	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
定期試験	筆記試験	